

働く男のライフスタイル情報紙

Biz Life Style

特別版

2023 06

『BizLifeStyle』は東京、神奈川、関西、仙台、福岡、広島にて49万部発行
下記URLまでアクセスを。

www.biz-s.jp

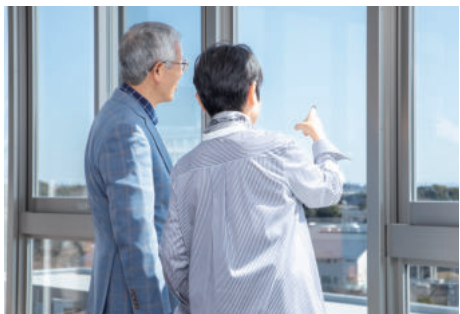
広告掲載に関するお問い合わせ・申し込みは
TEL.052-219-7011 FAX.052-219-7041

www.dac-group.co.jp/

企画・制作/株式会社デイリー・インフォメーション中部
〒460-0003 名古屋市中区錦2-9-29 ORE 名古屋伏見ビル8F
© 2023 DAILY INFORMATION CHUBU CO.,LTD



まだ元気なうちに、
この暮らしを始めて
良かったです。



林優一さん・弘子さん

山梨・長野・名古屋など、兵庫で暮らしていたときはなかなか訪れることのできなかった場所へお出掛けしてアクティブに毎日を楽しんでいます。

——他にも老人ホームはたくさんありますが、なぜ浜名湖エデンの園を選ばれたのでしょうか？
弘子さん：もともと宝塚エデンの園の近くに住んでいましたので、エデンの園はちゃんとケアをしてくれるところという評判をよく耳にして

——まだまだお元気なお二人が、この暮らしを選んだ理由は何だったのでしょうか？
優一さん：退職後は家族と過ごす時間を大切にしたいと思っていました。それで長男の住む浜松に移り住むことにしたんです。でも、子供に迷惑は掛けたくないなと。

弘子さん：もちろん色々な手続きはお願いくることになるかもしれないけれど、精神的な迷惑はかけたくなかったんです。いきなり介護が必要になって大変だったという話はよく聞きますから。ここなら、もし介護が必要になってもスムーズかなと。昔は子供が親を老人ホームに入れるっていう考え方でしたが、私たちは自分の意思で入ることを決めたんです。

優一さん：契約を決めたのは私が70歳のときでしたから早かったと思います。ただ、体力があるうちじゃないと移り住むのも大変ですし、ちょうどエデンの園が建て替えたタイミングだったので、新しいところに入れたらいいなという気持ちもありましたね。

2020年に兵庫県西宮市から息子さんが暮らす浜松に移り住み、介護付有料老人ホーム「浜名湖エデンの園」に入居された林ご夫妻。現在は息子さんのマンションで暮らしながら、月に数回「浜名湖エデンの園」に泊まりに来ているそうです。浜松での生活をアクティブに楽しんでいるお二人にこの暮らしを選んだ理由をうかがいました。

いたんです。
優一さん：そうですね。あと、私は退職したとたん心臓疾患がみつかって入院して治療を受けていたんです。浜名湖エデンの園はすぐ隣に指定医療機関（※1）である聖隷三方原病院がありますし、何かあったときもここなら安心だなと。でも看取りまで面倒を見てくれるというのが一番の理由だったかな。

弘子さん：私の父も施設で暮らしていました。が、体調を崩して病院に入り、結局そのまま施設には戻れず病院で亡くなったんです。

優一さん：ここは本当に最後まで見てくれますからね（※2）。そういう部分をしっかりと比較して、やっぱりエデンの園がいいなと。もう共同墓苑（※3）の手続きも済ませてあるんですよ。

——今はまだ息子さんとの暮らしが中心とのことですが、エデンの園の生活はいかがでしょう？
弘子さん：とっても快適です。1泊る食付きのお泊りがずっと続くような感じですね（笑）。食事は野菜中心で栄養管理が徹底されていますし、細かく調理してくださるから食べやすいですよ。あと、昨日のお昼の出来事なんですけれど、主人が胃の調子が悪くて申し込んでいたお昼ご飯を食べなかったんです。そしたら食堂の方がお電話をくださった。

優一さん：うん、胃の具合がちょっと悪くてね。今日は食べなくていいやと思って、彼女だけ食堂に行ったんです。そしたら電話がかかってきて「どうされましたか」。胃の調子が悪くてね、と伝えたら「それなら居室サービス課に連絡しましょうか」と言ってくださって。いや、それは自分でできますからってお断りしたんですけど。でも、できない場合もありますから、そういう時にちゃんと連絡してくださるんだっていうのがよくわかりましたね。

弘子さん：若くて元気な時はそんな細かいことまで構ってくれなくても大丈夫って思っんですけど、だんだん弱ってきたら、見守られている安心感の方が大きいですね。ゴージャスな老人ホームは他にもいっぱいあるでしょうけど、やっぱり働いているスタッフの方が気持ちよく仕事をしてくださるから快適に暮らせるのだと思いますよ。

※1 園が受診付添、入退院時の送迎、手続き、入院中の訪問や洗濯などサービスを提供すると定めている医療機関です。

※2 最期までその人らしい暮らしを支え、穏やかにお見送りをいたします。症状によっては病院に入院し、そこでお亡くなりになるケースもあります。

※3 別途費用がかかります。



今年で開設50周年を迎えたエデンの園。次頁では、開設当時のことをよく知る創始者のご家族に開設に至った経緯やこれまでの歩みを語っていただきました。

エデンの園 開設50周年の歴史

1973年 浜名湖エデンの園 開設 (108戸)



1979年 宝塚エデンの園 開設

1980年 松山エデンの園 開設

1986年 油壺エデンの園 開設

1992年 ウェルエイジングプラザ 奈良ニッセイエデンの園開設 運営受託(現在は共同事業)

1996年 ケア付き高齢者住宅 明日見らいふ南大沢開設 運営受託

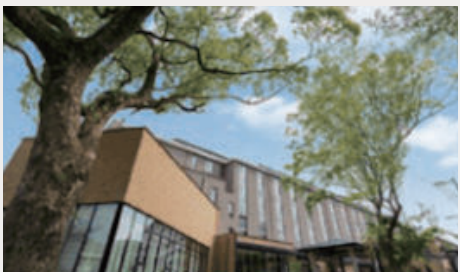
1997年 ウェルエイジングプラザ 松戸ニッセイエデンの園開設 運営受託(現在は共同事業)

2007年 浦安エデンの園 開設 日本郵政からの事業譲渡

2010年 横浜エデンの園 開設

2011年 藤沢エデンの園 開設

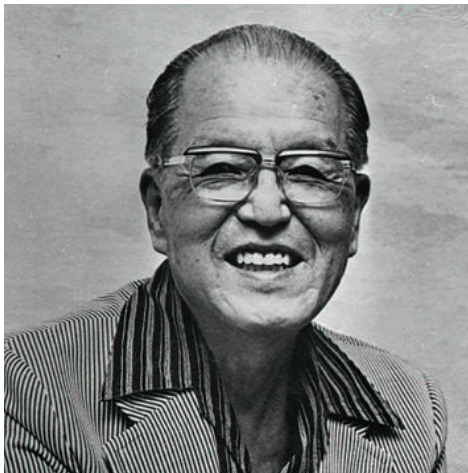
2020年 浜名湖エデンの園 リニューアル



2023年 エデンの園 開設50周年

エデンの園が目指した 高齢者の幸せな生き方

聖隷福祉事業団の創始者である、長谷川保によって
1973年に開設された浜名湖エデンの園。
これまでの歴史と長谷川保が抱いていた想いに迫る。



創始者 長谷川保

エデンの園の運営母体である聖隷福祉事業団の創始者。
1903年静岡県浜松生まれ。結核病棟や日本初のホスピス
を開設し、国会議員として福祉に関する法律の制定に奔走
するなど社会福祉事業に一生を捧げました。

今年で開設50周年を迎えた浜名湖エデンの園。
今回は創始者である長谷川保さんのご家族に
お集まりいただき、開設当時のことや生前の長
谷川保さんについて語っていただきました。

——浜名湖エデンの園が開設したのは1973
年です。当時の感覚ではかなり画期的な施設
だったと思うのですが、どのような経緯で開設
に至ったのでしょうか？

歌子さん、もともとは高齢者の自殺をなく
したいというのがテーマだったと思います。
長谷川が国会議員として国連に行ったとき、
日本は高齢者の自殺が多いことを知り、色々と
調べていくと三世帯で同居している人の自殺
が最も多いことがわかったそうです。経済
的に豊かになったことで、みんな個人を大切
にするようになり、一緒に生活するのが難し
くなってきた時代だったのでしょう。高齢者
の自殺をどうやって減らすかと考えたとき
に、エデンの園のような施設が必要だと考え
たのです。

節子さん、それまでは、家族みんなが最期ま
で暮らすという考え方が一般的でしたから
ね。一番の動機は社会的使命だったと思いま
すよ。当時も特別養護老人ホームといった養
老施設はありましたが、やっぱり最低限
の生活水準を守るための施設でしたからね。
長谷川はヨーロッパの国を散々見てきたん
です。子供たちの世話になることなく、人
として最期まで豊かに生き暮らす仕組みを作
りたかったのでしょう。でも、当初はまわりから
相当反対されたと聞いています。

——周囲の反対を押し切った開設だったん
ですね。開設にあたってはかなり苦労されたの
でしょうね。

新さん、ええ、私はその頃、両親と一緒に住ん
でいたのでよく覚えています。特に病院は大反
対でした。エデンの園は裕福な方の生活をサ
ポートしていく施設という位置付けだったの
で、困っている人や生活ができない人を助ける
のなのにもかかわらず、豊かな人のために何ぞん
なことをするのかという声をよく耳にしました。
それまでの聖隷の方針とはちょっと違いまし
たから、そこに違和感を覚えた人が多かったの
でしょう。

歌子さん、でも、長谷川の考えは生活が苦し
い人でも、豊かな人でも、という人でも人間
として如何に最期までイキキと生きられる
かというのがテーマでしたから。精神的な豊か
さというのは、経済的な豊かさとはまた別物で
す。両親が喧嘩しているところは誰も見た
ことがありません。ただ、両親が仕事を終えて
帰ってくる頃には子供たちはみんな寝ていて、
朝起きたときにはお父さんが仕事に出掛けてしま
ってしまっていたから、両親の姿を見る時間がそ
ろもなくってさうですね。

節子さん、思い出深いイベントといえは、
70歳を過ぎた一番の兄、怒られたことがあ
りまして子供の頃、母はいつも私たちに食事
を与えて、残りを食べていたそうなんです。
私はそのことを全くわかっておらず、いつ
も一番最後まで食べていたんです。それで兄が
ら、「母はいつもお前が食を終わるまで待て
残ったのを食べるのに、それを知らないで全
部お前が食べちゃうじゃないか」と怒られま
した。そんなことはもっと早く言ってくれな
きゃダメって兄には言い返したんですけどね
(笑)。

新さん、両親はずっと浜名湖エデンの園のす
ぐ隣にあった、バラック小屋に住んでいたで
すよ。ただ3号館を建てるにあたってバラック
小屋を撤去することになり、3号館の中に部屋
をつくって最後はそこで暮らしていました。
節子さん、そういえば母は80歳を過ぎから
も毎朝ずっとエデンの園の庭の掃き掃除を
していました。寒いときも毎日欠かさず掃除を
していたので、本当に大変な仕事だったと思
いますけれど、母はそういう人でした。

——最近では高齢者施設が増え、高齢者の生き方

すしね。反対意見を説得してまわる姿は記憶に
残っていますよ。

——開設当時の浜名湖エデンの園は、ずとは随
分違ったのでしょうか？

新さん、今は全然違いますよ。昔は「一
帯が全部森でしたし、最初に作ったエデンの
園の居室は四畳半に台所をつけただけの六畳の
部屋でした。他に2DKの居室もあり、そ
うの方が人気で六畳の部屋はなかなか埋まらな
かったはずです。長谷川はもともとが貧乏性な
ので、一人住まいなら一部屋でいいだろうと
思ったのでしょうか(笑)。

歌子さん、開設したばかりの頃は入居者さ
んがエデンの園の受付をやったり、病院の患者さ
んのオムツを量たり、色々なことに参加さ
れていましたね。当時の聖隷福祉事業団の機関
紙にも「働く老人ホーム」と書かれていて、働く
ことが規則ではないけれど、働きたい人は働く
場所がありますよ、という形だったと思いま
す。

節子さん、あと当時は大きな温室もありま
したね。入居者さんを楽しんでもらうために建
てたんですよ。隣建ての家ぐらゐの大きさがあり
ました。その温室をつくっていたバナナが本
当に美味しくて、2号館を建てる時に温室はな
くなくなりましたけれど、今でも懐かしく
思い出します。

——皆さんから見ても、長谷川保さんはどんな人
だったのでしょうか？

歌子さん、たとえ赤字になっても、まわりか
らバッシングを受けても、必要だと言って推し



長谷川保・八重子夫妻



園を開設したとは日本人の意識を変えるつえ
でも、すごく大きな意味があったのではないか
と思います。
節子さん、長谷川はより多くの方に楽しく暮
らせる場所を提供できるよう、全国100箇所
にエデンの園をめぐりたいと口癖のように話
してました。今はエデンの園以外にも、同じよ
うな事業を手掛けている方がたくさん出てま
したよね。エデンの園に限らず、こういった施
設によって高齢者が抱える大きな問題を、ある
程度は無くしていけるのではないのでしょうか？

——これからの浜名湖エデンの園に期待するこ
とはありますか？

新さん、開設した当時と比べると、浜名湖エ
デンの園は随分大きくなり、施設もここでの暮
らし方も見違えるほど変わっただけなんです。
居室もなくなりましたし、今では入居者さんに施
設の仕事を手伝ってもらうこともないでしょ
う。昔のような入居者さん参加型の施設ではな
くなりましたが、その一方でサービスが拡充さ
れ、より快適に暮らせる環境になったのではな
いでしょうか？

歌子さん、そうですね。浜名湖エデンの園を
開設した当時、今の時代とはまったく違い
ますから、これからは働いている職員が入居さ
れている方、今生きている方々でこれからエ
デンの園をつくるにつれて欲しいですね。時代
に合わせて変わっていく、進化していくのが一
番の理想ですね。



第8子(四女) 大手 歌子さん

元聖隷三方原病院の総看護部長。現在は
退職し、聖隷クリストファー高等学校の
ソフトボール部コーチとして指導にあた
っている。



第9子(五女) 金谷 節子さん

管理栄養士。病院勤務を経て常葉大学
の准教授に就任。2006～2008年には
日本オリンピック委員会強化スタッフと
して女子バレーボールチームを担当。



第10子(五男) 長谷川 新さん

不動産会社を経て聖隷福祉事業団に転
職。宝塚エデンの園、油壺エデンの園な
どの開設を手掛ける。現在は退職し、農
作業に励んでいる。

My Favorite Life Style



一般居室(モデルルーム イメージ)



希望者は永代供養の共同墓苑(※別途費用)も利用できる。毎年、亡くなった方の追悼慰霊祭を行っており、ここで出会った方の縁を大切にしている。



炭酸泉風呂を導入した1号館大浴場は入居者の癒しの場所。各居室に浴室はついているが、大浴場でゆっくりと心身を癒すことができる。



1号館にあるラウンジでは来園したゲストとお話をしたり、読書をしながらくつろいだり、思い思いの時間を過ごすことができる。

浜名湖エデンの園 ミニセミナー&個別相談会in浜松

施設概要・サービス内容の説明をはじめ、費用や不動産売却、身元引受人がたてられない場合などの入居までの不安や疑問を解消しませんか。当日は浜名湖エデンの園の職員が対応します。

事前予約制

参加無料

日時

7/7(金)

会場

クリエート浜松(浜松市中区早馬町2-1)

ミニ
セミナー

- ① 浜名湖エデンの園 施設紹介(10:40~11:20)
- ② 「あなたはどこに住む?後悔しない
高齢者住宅の選び方」 岡本典子氏(11:20~12:20)

個別相談会

1件1時間程度(13:30~17:00)

ミニセミナー&個別相談会にご参加いただいた方へ50周年記念品を贈呈

エデンの園開設50周年を記念して、環境に配慮した記念品をご用意いたしました。
ご参加時にどちらかおひとつをお選びいただき、贈呈いたします。



「ミニセミナーのみ」「個別相談会のみ」のご参加も可能です。ご予約・資料請求はこちら

TEL.0120-60-1055 ※「ビズスタを見た」とお伝えください。

2023年に50周年を迎えました。



浜名湖エデンの園

公益社団法人全国有料老人ホーム協会登録ホーム

〒431-1304 静岡県浜松市北区細江町中川7220-99



浜名湖エデンの園 施設概要

●住所／静岡県浜松市北区細江町中川7220-99●開設／1973年5月1日●敷地面積／17,176.67㎡(建物も含め、全て事業主体が所有)●延床面積／32,398.09㎡●構造／(全て耐火)1号館 鉄筋コンクリート造地下1階地上6階建、2号館 鉄筋コンクリート造地上6階建、3号館 鉄筋コンクリート造地上5階建、4号館 鉄骨鉄筋コンクリート造地上7階建、増築4号館:鉄筋コンクリート造地上7階建、5号館 鉄筋コンクリート造地上6階建、6号館 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造地上4階建●入居条件／①入居契約時満60歳以上。ご夫婦2人入居の場合はどちらかの入居契約時年齢が満60歳以上かつ、もう一方が満50歳以上。ご夫婦でない場合は続柄が3親等以内の血族または1親等の姻族で、2人とも入居契約時年齢が満60歳以上の方(3人以上の入居は認められません)②身のまわりのこと(食事、排泄、入浴、掃除、洗濯、買物等)がご自分でできる方(入居契約時自立)③連帯保証人、身元引受人をたてられる方(入居者の親族を原則とします)。連帯保証人が立てられない場合は、ご相談ください。身元引受人が立てられない場合は、任意後見制度をご利用いただきます。※詳しい内容等をご相談ください。④健康保険・介護保険に加入されている方⑤当施設の運営主旨をご理解いただき、他のご入居者と協調した生活ができる方●定員／519名●居室総数／429室(一般居室個室372室・介護居室個室57室)●共用設備／大浴場、介護浴室、食堂、一時介護室、デイケアルーム(機能訓練室と兼用)、応接室、銀行コーナー、ラウンジ、多目的ホール、多目的ルーム、音楽室、健康管理室、ミーティングルーム、談話室、トレーニングルーム、ホビールーム、クラブ室、ボランティア室、図書室、駐車場、駐輪場、菜園、上ランクルーム、ゲストルーム、喫茶コーナー、共同墓苑他※下線部の施設は利用に際して別途費用がかかります。●指定医療機関／聖隷三方原病院 ※園が受診付添、入退院時の送迎、手続き、入院中の訪問や洗濯などサービスを提供すると定めている医療機関となります。治療などにかかる費用は、サービス料金に含まれていません。●広告有効期限／2023年7月末日

施設の類型及び 表示事項

(浜松市有料老人ホーム設置運営指導要綱による)●類型／介護付有料老人ホーム(一般特定施設入居者生活介護)■居住の権利形態／利用権方式■利用料の支払い方法／全額前払い方式 介護居室へ住み替えの場合、住み替える前の居室と比較して、介護居室は専有面積が減少します(一部の居室を除く)。そのため、住み替え先の介護居室との比較で、家賃(入居一時金)の差額を返還する場合があります。ただし、入居者(鍵引渡日)の翌日から4,749日(13年)を経過した場合、家賃(入居一時金)の返還はありません。また住み替えによって追加料金をいただくこともありません。居室利用権は、一般居室から介護居室へ移転します。■入居者の要件／入居時自立■居室区分／全室個室■介護保険／浜松市指定介護予防特定施設入居者生活介護、浜松市指定介護保険特定施設(一般型特定施設)■介護居室区分／全室個室■一般型特定施設である有料老人ホームの介護にかかわる職員体制／2:1以上

「エデンの園」の事業主体・運営主体



社会福祉法人 聖隷福祉事業団 高齢者公益事業部

〒430-0946 静岡県浜松市中区元城町218-26 聖隷ビル8階

TEL.053-413-3294(代) FAX.053-413-3375

浜名湖
エデンの園
入居者募集
センター

浜名湖エデンの園のお問合せはこちら

0120-60-1055

[受付時間 | 午前9時～午後5時(土日祝を除く)]

<https://www.seirei.or.jp/eden/hamanako/>